

令和6年度 富士見中学校グランドデザイン

生徒の実態

- 素直さ、誠実さ
- 粘り強さ
- 穏やかさ、協調性
- △自己表現が苦手
- △自己決定の不安
- △原体験や経験の減少
- △個人差が大きい

社会の変化  
VUCA、Society5.0、  
人口減少、少子化、  
高齢化…

学習指導要領  
令和の日本型  
学校教育

学校長の願い

- 安心・安全な学校
- 協働によって探究、思考を深める授業
- 自己決定と振り返りを往還しよりよい生き方を求め続ける生徒

ふるさと自然や文化を愛し、誇りを持ち、町づくりに参画しながら  
明日を啓くふじみの子（愛着・誇り・参画意識）を目指すために

保護者・地域の願い

- 日々明日を楽しみにする子ども
- 基礎学力の定着
- 挨拶・感謝のできる人
- 広く豊かな人間関係
- 豊かで充実した体験活動

学校教育目標 自ら考え、判断し、行動できる生徒

学びに向かう力、豊かな心

- 自己決定と振り返りを軸としたPDCAサイクルの確立（自己管理能力、自己調整力）
- 仲間と共に磨きあう豊かな心の育成（粘り強さ・挑戦心・心遣い・感謝・正直）

明日を切り拓く確かな学力

- なぜ、どうしてと考え追究する授業
- 「なぜならば」と根拠を明確にする授業
- 「だとすれば」とつなげ、考え、創造する授業

つながる力（コミュニケーション力）

- 違いを受け入れ、違いから理解や思考を深める協働的な学び（多様性の尊重、多面的視野）
- 人・郷土・社会とつながる体験活動（関係構築力）

ふるさと富士見に学び、ワクワクしながらチャレンジし自己更新できる学校（重点目標）

- 1 学びに向かう力、豊かな心を育む主体的な学びづくり
- 2 問いをもち、協働しながら探究的に学びを深める授業づくり
- 3 多様な人、郷土、社会とのつながりを深める学級、学年づくり

指導場面及び指導の具体

指導の重点  
思考を促し、判断や表現を大切にする指導

【教科学習】

- ・問いのある授業
- ・学びの自己調整
- ・既習事項を活用し、教科の特性にせまる授業の構想
- ・実生活や社会事象との関連付け
- ・他者と関わる場面、振り返り場面の設定
- ・主体的な取組を促す家庭学習の工夫

【総合的な学習の時間】

- ・富士見の自然、歴史、文化を知る体験的な学習
- ・地域の人々の姿から仕事の意味や自身の生き方を考える学習
- ・富士見の人と関わりながら、社会のあり方を考える学習
- ・課題設定→探究→振り返り→課題設定…のサイクルの実行
- ※満蒙開拓、広島修学旅行などに学ぶ平和学習

【生徒会活動】

- ・生徒の主体性を重視し、新企画なども推奨する
- ・各活動ヘリアクションを返し、富士見中の生活を支え、良くしていることを実感させる
- ・活動報告の機会を設ける

健康について考え  
富士見を知る食育

【部活動】

- ・生徒の主体性等を育成する
- ・他校生との交流も活動に生かす
- ・支えてくださる方への感謝の気持ちを醸成する

他の世界に触れ、  
生き方を考える図書館教育

多様性を受け入れ、互いの良さに学び、  
各人が可能性を追究する基盤となる  
人権教育

自立につなげていく生徒指導  
スケジュール手帳(2・3年)と生活記録(1年)の活用

富士見中三本柱【挨拶・清掃・合唱】  
百鈴祭 無言清掃 合唱祭  
・学級間交流、縦割り活動による学年間交流の機会をもつ  
・校外の人との接点を模索する

地域・家庭の支え

- ・学校の各種教育活動への理解と支援
- ・物的、人的支援
- ・補充学習の推進
- ・基盤となる基本的な生活習慣の確立
- ・「総合的な学習の時間」展開への支援

結果の共有  
学校評価アンケートの実施

- 令和6年度 特に重点とする指標
- ・授業アンケート「課題に対して自分から取り組んでいたと思う」の肯定的評価を90%以上にする。
  - ・学校評価アンケート「学校に来るのが楽しい」の肯定的評価90%以上を継続する。

結果の分析と  
活用